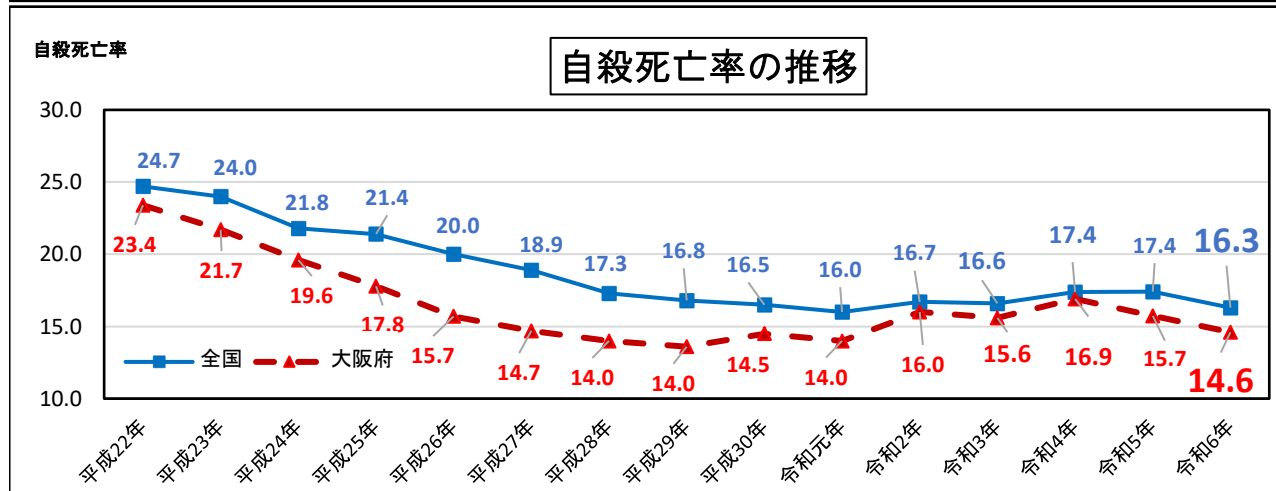
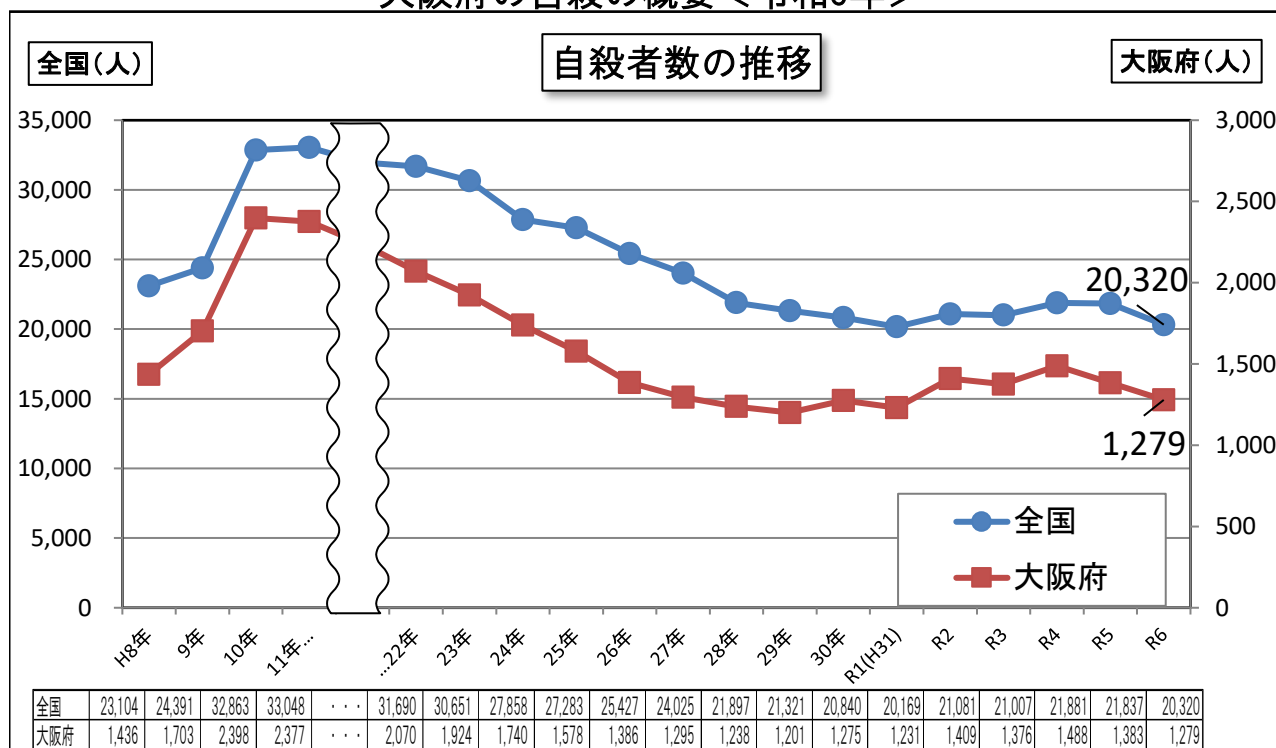


大阪府の自殺の概要＜令和6年＞



出典：厚生労働省自殺対策推進室作成地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地

※警察庁の自殺統計

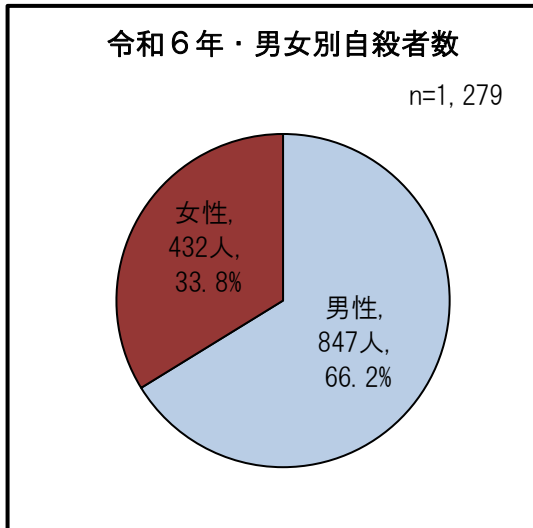
全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。

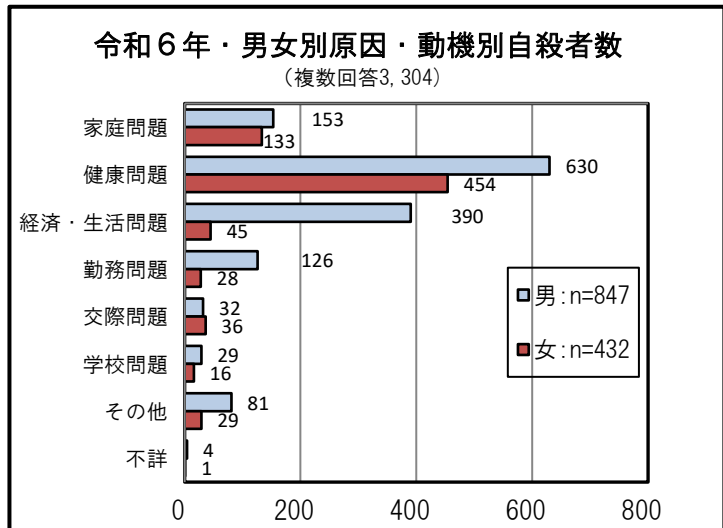
令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、全国の自殺者数は11年ぶりに増加し、令和6年は前年より1,517人減少して20,320人でしたが、令和2年以前の状況には戻っていません。

大阪府でも同様に平成30年以降横ばい状態でしたが、令和2年に増加し、令和6年は前年より104人減少して1,279人となりましたが、1日に約4人の方が亡くなられている状況です。

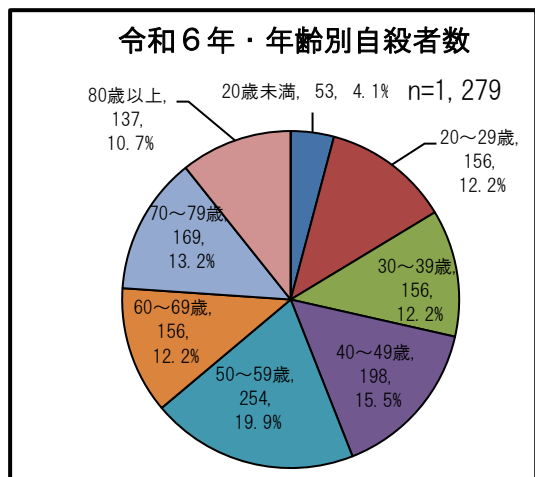
自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、14.6となっています。



男女別自殺者数は、男性が847人（66.2%）、女性が432人（33.8%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。



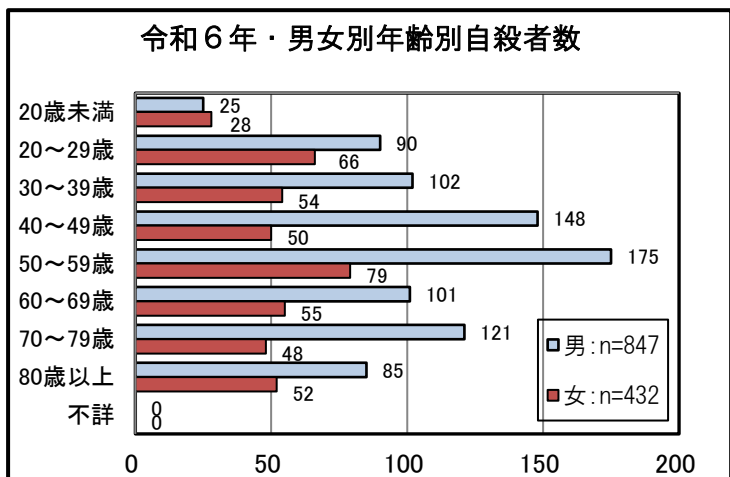
令和4年からは、家族の証言等から原因・動機を4項目まで計上することが可能になりました。男性、女性ともに、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が上位を占めています。



年齢別自殺者数は、「50～59歳」が254人（19.9%）と最も多く、次いで「40～49歳」が198人（15.5%）、「70～79歳」が169人（13.2%）と続いています。

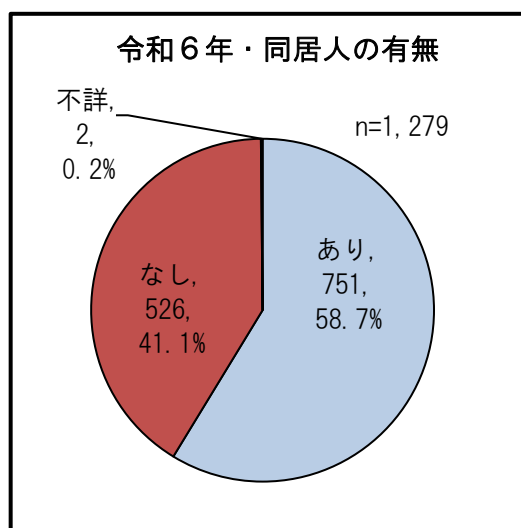
また、39歳以下の若年層の自殺者数は365人（28.5%）で、全体の約4分の1を占めています。

60歳以上の高齢者の自殺者数は462人（36.1%）でした。

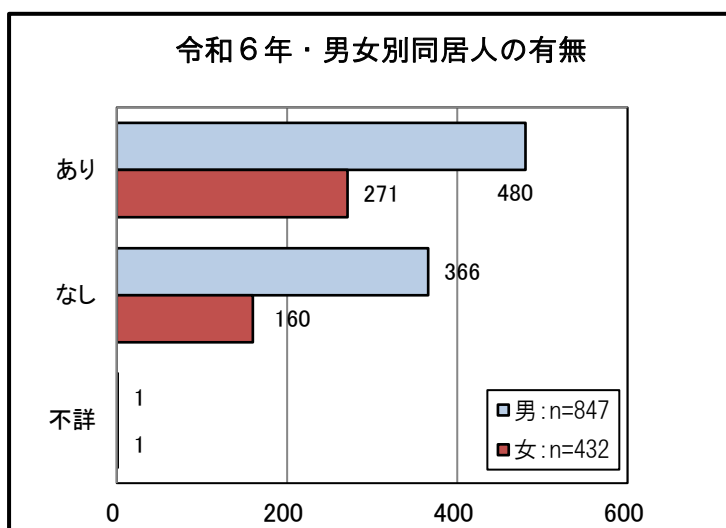


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」175人（20.7%）が最も多く、「40～49歳」148人（17.5%）が続いています。

女性は「50～59歳」79人（18.3%）が最も多く、次いで「20～29歳」66人（15.3%）となっています。

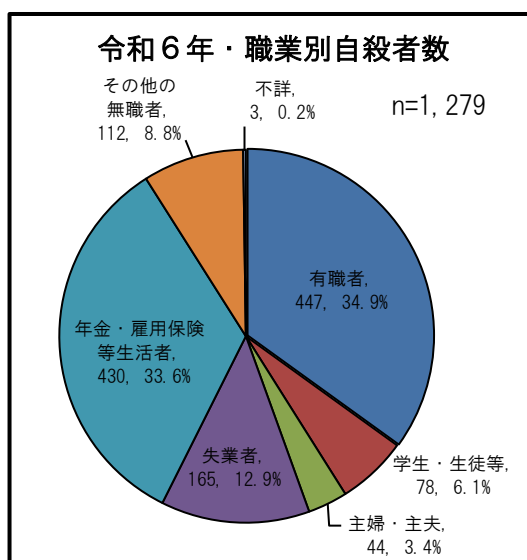


同居人の有無では、「同居人あり」が751人（58.7%）、「同居人なし」が526人（41.1%）となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。

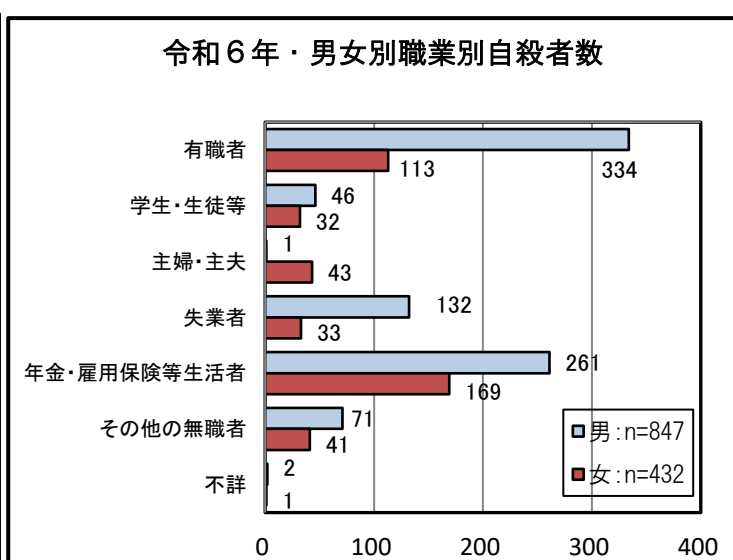


男女別の同居人の有無では、男性480人（56.7%）女性271人（62.7%）が「同居人あり」で、女性の方が「同居人あり」の割合が多くなっています。

男性366人（43.2%）、女性160人（37.0%）が「同居人なし」でした。

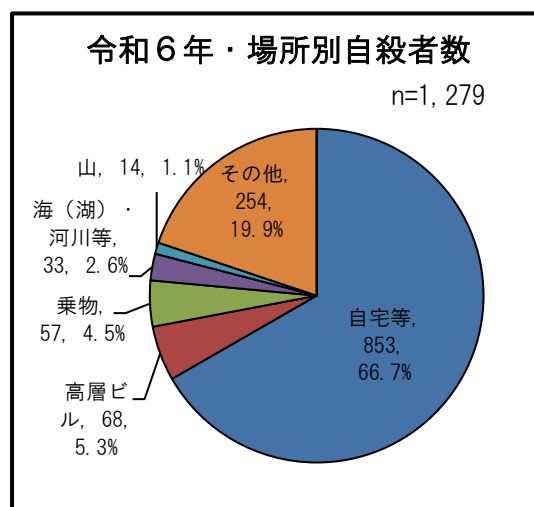


職業別自殺者数の割合は、「有職者」が447人（34.9%）と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が430人（33.6%）となっています。「学生・生徒等」は、78（6.1%）です。

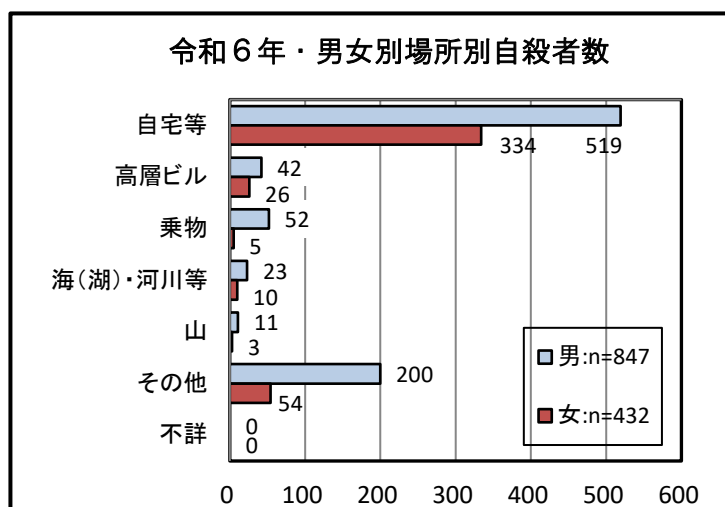


男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「有職者」が334人（39.4%）で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が261人（30.8%）となっています。

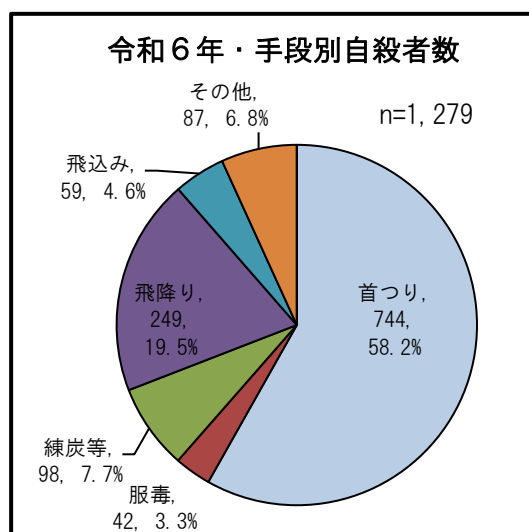
女性は、「年金・雇用保険等生活者」が169人（39.1%）で最も多く、「有職者」が113人（26.2%）で続いています。



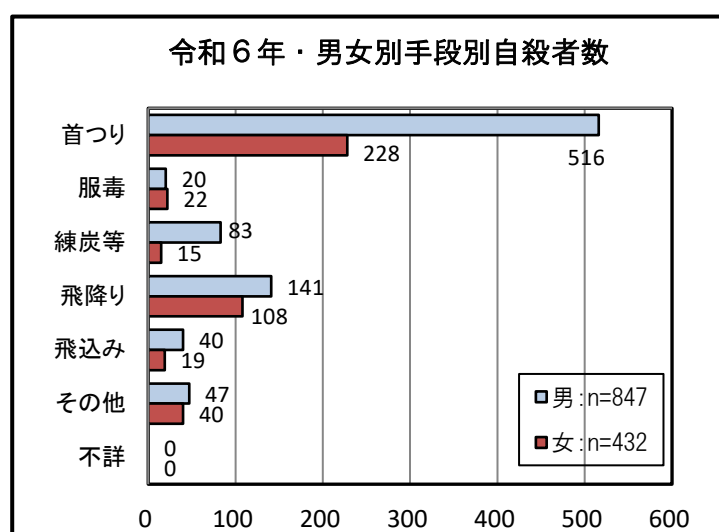
場所別自殺者数では、「自宅等」が853人(66.7%)と約7割を占めています。次いで「高層ビル」が68人(5.3%)となっています。



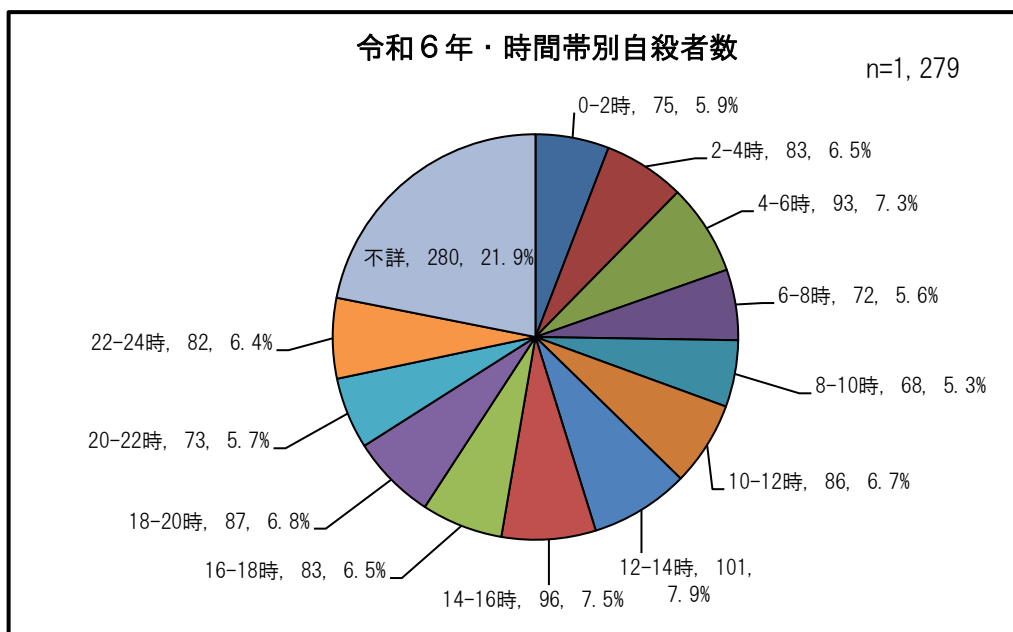
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」となっています。「自宅等」が男性519人(61.3%)で、女性334人(77.3%)、「高層ビル」が男性42人(5.0%)で、女性26人(6.0%)です。



手段別自殺者数では「首つり」が744人(58.2%)と約6割を占めています。次いで「飛降り」が249人(19.5%)となっています。

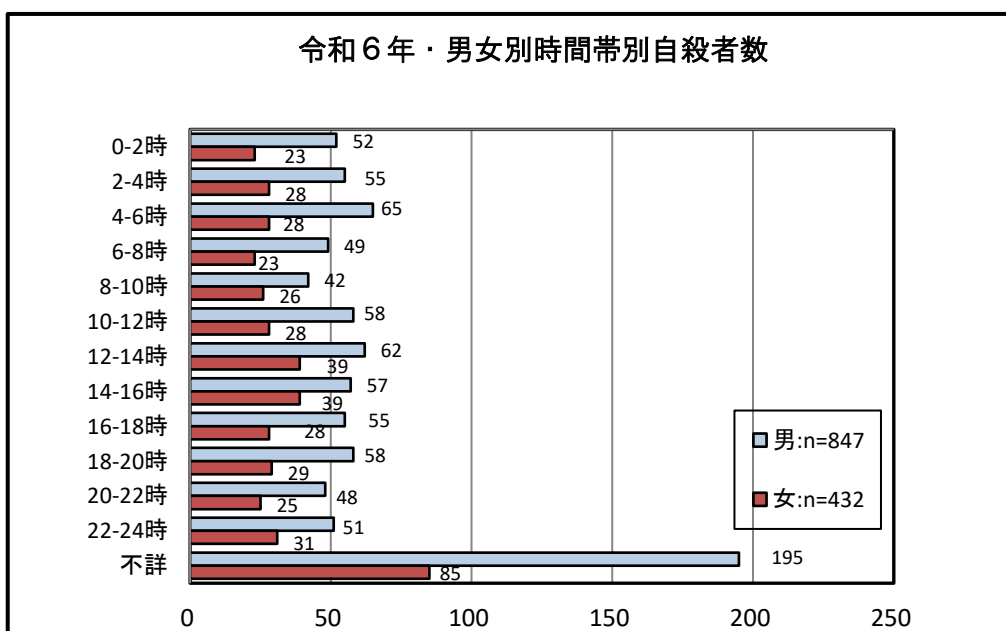


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。「首つり」は男性516人(60.9%)で、女性228人(52.8%)、「飛降り」は男性141人(16.6%)で、女性108人(25.0%)です。

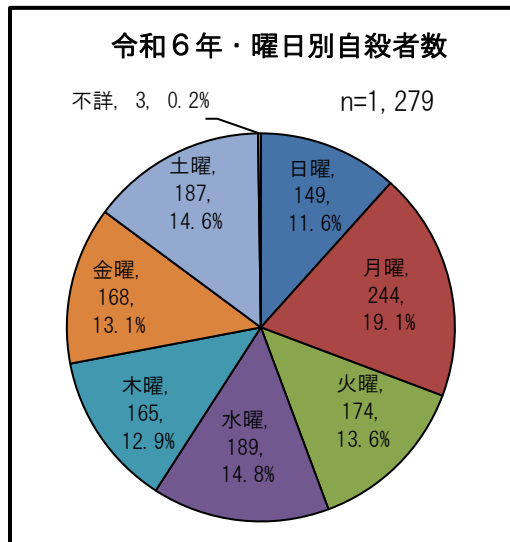


時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「12～14時」の101人（7.9%）、次いで「14時～16時」の96人（7.5%）となっています。

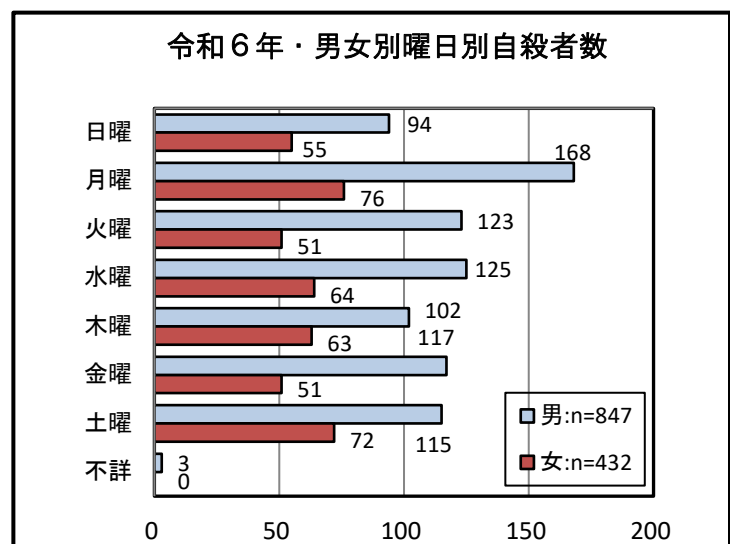
少ない時間帯は「8時～10時」68人（5.3%）となっています。



男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「4～6時」が65人（7.7%）、女性では「12時～14時」「14時～16時」がそれぞれ39人（9.0%）でそれぞれ最も多くなっています。

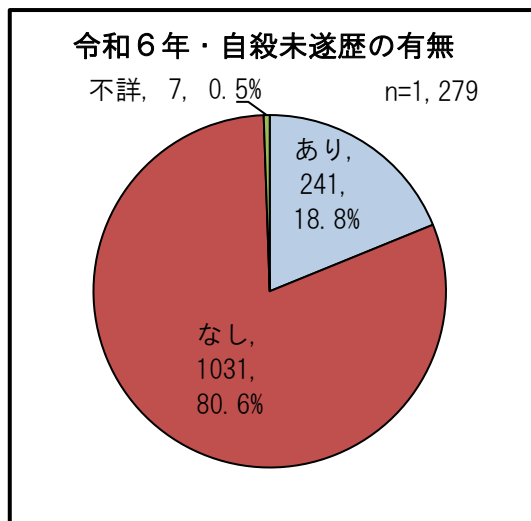


曜日別自殺者数の割合は、「月曜日」の244人（19.1%）が最も多く、「日曜日」の149人（11.6%）が少なくなっています。

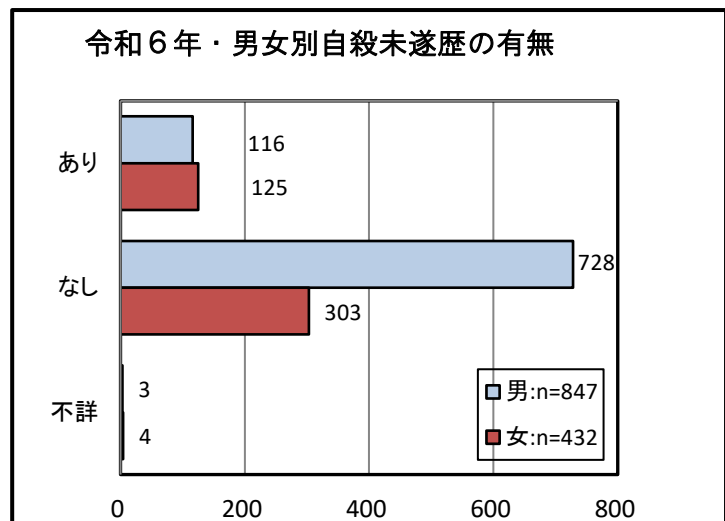


男女別の曜日別自殺者数では、男性は「月曜日」の168人（19.8%）が最も多く、「水曜日」の125人（14.8%）が続いています。

女性も「月曜日」の76人（17.6%）が最も多く、「土曜日」の72人（16.7%）が続いています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は241人（18.8%）で約2割を占めています。「なし」は1,031人（80.6%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は116人（13.7%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は125人（28.9%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。